



Title	新年のごあいさつ
Author(s)	納谷, 敦夫; 澤田, 重樹; 岸, 廣成 他
Citation	makoto. 2004, 125, p. 2-5
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/85799
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

新年のごあいさつ



大阪府健康福祉部長

納谷 敦夫

新年あけましておめでとうございます。

新春を迎え、財団法人大阪防疫協会の皆様には益々御清栄のこととお喜び申し上げます。

日頃から、本府の健康福祉行政に格別のご協力を賜り、心から厚くお礼申し上げます。

さて、本府におきましては、「すこやか都市・大阪をめざして」をテーマに掲げ、感染症など府民の健康に多大な影響を及ぼす事態に対する危機管理に万全を期するとともに、保健・医療・福祉の向上を図り、府民一人ひとりが生きがいをもって安心して暮らせるようさまざまな取り組みを進めているところです。

昨年春、アジアを中心に新興感染症「重症急性呼吸器症候群（SARS）」が集団発生し、人々に脅威を与えました。航空機等の移動手段が発達した現代社会において、人の移動を介して瞬く間に世界各地に感染が広がったことから、検疫体制と感染症対策の迅速かつ機動的な対応の重要性を再認識させられたところです。これらの課題を踏まえ、昨年11月、感染症の予防及び感染症の医療に関する法律及び検疫法の一部が改正され、国及び都道府県等の役割が明確にされるとともに、検疫体制、緊急時における国内感染症対策、動物由来感染症対策の強化等がなされ、総合的な感染症予防対策の推進が図られました。

貴会におかれましては、永年培ってこられた衛生害虫等の防除と管理を始めとする防疫対策・環境衛生などに関する豊富な知識や経験、高度な技術を遺憾なく発揮され、本府の感染症対策にご尽力いただきますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、貴協会の益々のご発展と会員の皆様方のご活躍、ご健勝を祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

新年のごあいさつ



財団法人 大阪防疫協会

理事長 澤田 重樹

明けましておめでとうございます。

新春を迎え、皆様方には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

旧年中は何かとご指導ご鞭撻賜りまして有り難うございました。

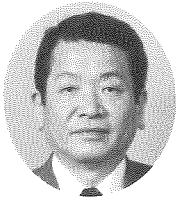
本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

国内経済は、景気指標の改善や、大企業収益の改善など明るい兆しが見られるようになって来ました。今年は此のまま順調に景気が回復してほしいと、誰しもが願っているのではないのでしょうか。しかし、中小企業に於いては、まだまだ厳しい状況にあり、庶民感覚としても景気が回復して来たという感じは、もう一つの様であります。此の様な中、昨年の阪神タイガースの快進撃は、低迷を続ける関西に於いて大きな話題と盛り上がりを見せました。阪神ファンは勿論、俄ファンも増えてタイガースグッズや関連商品等の売上増加が関西経済に少しは貢献したのではないのでしょうか。

さて、今年もインフルエンザの季節がやって来ました。今冬は、新型肺炎である重症急性呼吸器症候群（SARS）との同時流行が心配されています。SARSは昨年中国より発生し世界に流行しました。日本に於いても、台湾のSARS感染者が、関西方面を旅行した事が分かり大騒ぎとなりましたが、幸いにも、国内での感染者が発生せず大事に至りませんでした。SARSは、高熱とせき、筋肉痛など、初期症状がインフルエンザと極めて良く似ているため、この時期での発生が心配されております。同時発生の混乱を避ける為にも、出来るだけ多くの人々がインフルエンザ予防のため、ワクチン接種をするように、厚生労働省を始め、各自治体や医療機関に於いても啓発に努めています。当協会は各種予防ワクチンの常備と供給事業を行っておりますが、インフルエンザの予防のために少しでも役立てれば幸いと思っております。

最後になりましたが、皆様方にとりまして良い年でありますことを祈念いたします。

新年のごあいさつ



大阪市健康福祉局
医務保健総長

岸 廣 成

新年あけましておめでとうございます。

新春を迎え、財団法人大阪防疫協会の皆様方には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

旧年中は、本市の健康福祉行政の推進に格段のご協力を賜り、心から厚くお礼申し上げます。

さて、大阪市では真のゆとりと豊かさを実感できるまちをめざして、これまで培ってきた都市機能や都市基盤、歴史と文化の集積を生かした施策を展開し、快適で住み良いまちづくりを進めております。

また、昨年9月に開催された世界柔道選手権をはじめ2007年の世界陸上選手権大会の招致決定など国際的な交流を通じて大阪市の魅力を世界に広め、国際集客都市の実現に力を注いでおります。

一方、航空技術など移動手段の発達にともなう国際交流の向上により、ウエストナイル熱や重症急性呼吸器症候群（SARS）などの感染症の流行が危惧されており、この様な状況に対応するため、新たに昨年10月に「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」が一部改正され、感染症対策が強化されたところです。

本市といたしましても感染症や大規模食中毒発生時における健康危機管理機能を充実させるなど、市民の多様なニーズや社会情勢に的確に対応し、快適で安全な生活環境を提供できますよう保健・医療・福祉をはじめ、関連機関との一層の連携を図り、健康福祉行政の推進を努めてまいります。

これら事業を推進するにあたりましては、これまでに貴協会が培われた衛生害虫防除や建築物の維持管理など豊富な知識や経験、高度な技術を十分に生かされ、快適な生活環境の推進にご尽力いただきますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、財団法人大阪防疫協会のますますのご発展と会員の皆様のご健勝、ご多幸を祈念いたしまして、新年のごあいさつといたします。

新年のごあいさつ



堺市健康福祉局
健康部長

澤 野 哲 也

新年あけましておめでとうございます。

新春を迎え、財団法人大阪防疫協会の皆様方には、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、本市保健衛生行政の推進に格段のご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、長引く景気の低迷により国・地方を問わず大変厳しい財政状況の中にありますが、本格的な地方の時代を迎え、市町村は自己責任・自己決定の原則のもと、効率的な行財政運営を推進することが緊急の課題となっております。

本市におきましては、最重要課題であります合併・政令指定都市の実現につきまして、昨年4月に美原町との間で、「堺市・美原町合併協議会」を立ち上げ、合併実現に向けて取組んでいるところでございます。

一方、保健衛生を取り巻く分野におきましては、昨年猛威を振った新型肺炎SARSへの対策をはじめとしまして、危機管理への対応が強く求められているところでございます。

本市といたしましても不測の事態に備え、自治体間の連携を密にするとともに危機管理体制の強化を図り、迅速な対応に向けてより一層努力して参ります。

貴協会におかれましては、豊富な知識、経験、高度な技術によりまして「健康都市・堺」の実現をめざした環境の確保のために、今後ともご協力いただきますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、財団法人大阪防疫協会の益々のご発展と皆様方のご活躍、ご健勝を祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

新年のごあいさつ



東大阪市理事兼
健康福祉部長

中 野 安 雄

新年あけましておめでとうございます。

財団法人大阪防疫協会の皆様には、益々ご清栄のことと心からお慶び申し上げます。

旧年中は、本市の保健衛生行政の推進に格別のご協力を賜り、心から厚くお礼申し上げます。

さて、昨年は本市にとりまして総合庁舎の完成、第2次総合計画の策定、組織再編による健康福祉部の創設、保健所整備の充実などまちづくりに臨む基本的な執行体制が整った再生の年でもありました。本市の将来像である安全で快適に住み、元気に働き、生涯にわたって学び、憩い、楽しむことができる世界に開かれた「夢と活力あふれる元気都市・東大阪」の実現に向けて、これからも種々の施策を積極的に推進しなければなりません。その中で、健康で安心して暮らせる施策を進める健康福祉部におきましては、今冬に再燃が危惧されているSARS、米国でも猛威を振るっているウエストナイル熱など感染症対策が、最重要課題であります。新興、再興感染症は、国際化の進展、交通手段の発達に伴い、いつ日本に入ってきてもおかしくはありません。

国においては、「感染症予防法」等の一部改正を行い、緊急時の対応、動物由来感染症の強化、対象疾病の分類の見直しなど総合的な予防対策の強化が図られたところです。

また、本市でも、より一層の健康危機管理の強化、関係機関との連携を密にする一方、地道な活動のひとつである日頃からの衛生害虫の駆除、市民啓発などの対策を充実させ、防疫面での対応が後手にならない対策を講じる必要があります。

こうした対策の推進にあたり、豊富な経験と高度な知識・技術を培われている貴協会のなお一層のご支援を賜りますようお願いいたします。

最後になりましたが、貴協会のますますのご発展と皆様方のご活躍ご健勝を祈念いたしまして新年のご挨拶といたします。

新年のごあいさつ



大阪府保健所長会 会長
大阪府泉佐野保健所 所長

岡 澤 昭 子

新年あけましておめでとうございます。

財団法人大阪防疫協会の皆様方には、すがすがしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

旧年中は、保健所事業各般にわたり、ご理解・ご協力をたまり厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、保健所を取り巻く状況に2つの大きな出来事がありました。1つは、新型コロナウイルスSARS（重症急性呼吸器症候群）の発生でした。とりわけ5月の来日台湾人医師の帰国後のSARS判明事例によって、わが国の健康危機管理体制のより一層の強化の必要性が認識されました。2つ目は、大阪府の保健所支所を廃止して、本所に統合するという府保健所条例の改正です。本所への統合により、マンパワーを結集して保健所機能を強化し、府民サービスのさらなる向上を図ろうと、職員一同身の引き締まる思いです。

それ故今年の4月からは、支所と一体となった本所の健康危機管理体制を強化し、結核・食中毒などへの対応は言うまでもなく、SARS等の新興感染症への迅速・的確な対策、食の安全・安心に向けた取り組みの強化、快適な住まい環境の確保、医療の安全の確保等を拡充します。

さらに、健康づくり支援・企画調整機能を向上させ、食育推進やたばこ対策、地域リハビリテーションシステムの構築等の地域ぐるみの健康づくりを、市町村・医療機関等関係機関とともに推進します。

また、難病・母子保健・精神保健・感染症の専門チーム制導入により、専門的相談・支援サービスを充実させ、地域保健の質の向上を図ります。

貴協会におかれましては、これまで培われた豊富な知識・技術・業績をもって、さらなる保健所へのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、財団法人大阪防疫協会のますますのご発展と、会員の皆様方のご健勝・ご多幸を心から祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

新年のご挨拶



財団法人
阪大微生物病研究会

理事長 東 雍

新年明けましておめでとうございます。

皆様方には、すがすがしい新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

旧年中は、財団法人阪大微生物病研究会のワクチン事業の遂行に格別のご尽力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は秋に衆議院選挙がありましたが、一部景気の回復がみられることから不況の閉塞感からの脱却が期待され、選挙結果は自民党小泉内閣の連立政権は維持されたものの、民主党の躍進で国民の選択は二大政党制に向かい、大政党の間にはさまった野党の後退など、政界にも大きな動きがあった一年でありました。

今年は、国会の活性化による行政改革の仕上げ、長かった不況からの脱却、さらに安定した社会への出発点として期待したいものです。

私共の事業に直接関係することとしましては、昨年はSARSの世界的な流行がありました。幸い日本に上陸することはありませんでしたが、今年も流行があれば上陸してもおかしくない状況にあります。

インフルエンザとSARSは流行する時期と症状が似ており、もし上陸した場合医療現場の混乱を防止するためインフルエンザワクチンの接種が奨励され、効果的にも社会的にもワクチンが見直されるようになったことを心より喜びますとともに、更に国の防疫事業にお役に立つ一方で、貴協会のお役にも立つことが出来ればと思います。

又、今年はMRワクチンの製造承認が予定され、組織培養日本脳炎ワクチンの第三相試験の推進及び、3月には観音寺研究所に新製剤棟が完成することで、市場のニーズに沿った製品の開発や製造が可能となり、皆様のご要望に応えることが出来るものと確信しております。

最後になりましたが、貴協会の益々のご発展と皆様方のご活躍ご健勝を祈念申し上げ、新年のご挨拶と致します。

